

平成30年度第1回国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
医療安全監査委員会議事要旨

1. 日 時 平成30年9月5日（水）14:30～15:30

2. 場 所 中会議室2

3. 出席者

監査委員 奥村委員長，横田委員，鶴田委員

本 学 佐々木監事

本 院 山下病院長，木村医療安全管理責任者，成澤医薬品安全管理責任者，坂口医療機器安全管理責任者，高松医療安全管理室副室長，山田副看護部長，田籠医療安全管理室副室長，木村医療安全管理室副室長，田中副MEセンター長，北村放射線部技師長，濱野事務部長，田端医事課長，内藤総務課長，森永医事課専門職，山崎医事課係長，田中医事課課員，井手総務課副課長

欠席 吉村医療安全管理室副室長，水田医療安全管理室副室長

○議事に先立ち、木村医療安全管理責任者から、今回は委員から2点の監査項目の提示があり、それについての対応方法及び配布資料の説明があった。

4. 議事等

(1) 患者等に対するインフォームドコンセント実施状況について

田籠医療安全管理室副室長から、資料1-1～3により本院のインフォームドコンセントに関する基本的指針，記録に関すること等の説明を行った。

また、山崎医事課係長（診療記録管理）から、資料1-4～7により同意書・承諾書の院内統一化およびチェック体制についての説明を行った。

その後、以下について質疑応答があった。

- ・説明時には「やさしい言葉を用いる」となっているが、病院として何か検討しているのか。

患者サイドそれぞれで受け取り方が違ってくことなどから具体的に文言をマニュアル化することは難しい。できるだけ平易な言葉で説明するなど指導の中で対応している。

- ・同席（患者サイドとして）に関してはどのような状況であるのか。がん告知など、理解が困難な場合に、医師の説明後に医師以外の医療従事者から別室で話ができる場を設定するなどのシステムがあるのか。

退院調整が難しい時などは必ず同席している。各部署で時間を調整しながら医師以外の医療従事者も同席しているが、専門看護師が中心になって行うことはあまりない。医師と他の医療従事者の説明の仕方で、患者側の受け取り方がかわったりすることがあるので説明は同時に行うことが基本であると考えている。

- ・マニュアルはどの部署で作成されているのか。
医療安全管理室と診療記録センターで作成している。
- ・インフォームドコンセントや同意書に関しての不備や不足をチェックする体制をとられているが、記載されないこともあるのか。
連絡があれば、速やかに対応し、短期間で記載している。
- ・同意しない患者さんもいるのか。
同意されない患者さんもいる。それについても記載している。
- ・同意書を取る範囲は決められているのか。
診療記録としては手術など侵襲を伴うものについては求めている。各診療科独自で同意を取っているところもある。

(2) 麻薬の管理と取扱いについて

木村医療安全管理室副室長から、資料2-1~10により本院で発生した事例およびその対応状況についての説明を行った。

その後、以下について質疑応答があった。

- ・正しいダブルチェックを身につけるとあるが、院内で決められた方法があるのか。二人で実施するからダブルチェックと言っているところもあると思うが。
二人が別々にもものを見て確認するなど、医療安全管理マニュアルにも確認の原則が記載されている。
- ・忙しい時には慣れで二人が同じものを見てダブルチェックしてしまうことがあるので、そこは徹底していただきたい。
- ・今までに麻薬の紛失・盗難・事件はなかったのか。
該当事例はない。
- ・看護師全員に麻薬に関する研修会を開催されているが、具体的な内容について教えていただきたい。
特殊な薬剤、特に麻薬については研修会を開催し、さらに内容の理解状況をペーパーテストを実施して確認した。
- ・資料を拝見しこれは良い確認方法だと思った。
- ・麻薬を返納された時の管理はどうしているのか。
薬剤部に返納書を添付して、返納清算書と重複して台帳で確認している。

- ・ 厳重に管理していることが理解できた。

(3) 監査委員からの講評について

奥村委員長からのコメントは以下のとおりであった。

インフォームドコンセントに関しては、マニュアルを作成して、適切に運用されていることが確認できた。

麻薬も取扱いについても研修会を行うなど良い取り組みがなされていた。

(4) 次回の医療安全監査委員会について

- ・ 次回の日程について

次回は平成31年2月頃を目途とするが、具体的な日時は後日日程調整することとした。

- ・ 次回の監査内容について

今後、委員の意見を伺いながら決定することとした。

(5) その他

特になし。

以上